

歌川国芳

没後160年記念

Utagawa Kuniyoshi

憂き世に、笑いと驚きを！

2021年
9月4日|土|▶▶
10月24日|日|

PART I 憂き世を笑いに！——戯画と世相

9月4日|土|～9月26日|日|

PART II 江戸っ子を驚かす！——武者と風景

10月1日|金|～10月24日|日|

※ IとIIで全点展示替え

開館時間 10:30～17:30(入館17:00まで)
休館日 月曜日(9/20は開館)、9/21、9/28～9/30(展示替えのため)
入館料 一般 1000円 大高生 700円 中学生以下無料
会場 太田記念美術館 東京都渋谷区神宮前 1-10-10
アクセス JR山手線 原宿駅(表参道口)より徒歩5分
東京メトロ千代田線・副都心線 明治神宮前駅(5番出口)より徒歩3分
お問合せ 050-5541-8600(ハローダイヤル)

公式サイト <http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/>
twitter @ukiyoeota



①「道外とうもろこし 石橋の所作事」(個人蔵)(PART I 9/4～26展示)
②「相馬の古内裏」(個人蔵)(PART II 10/1～24展示)

注意 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため、予告なく予定を変更することがございます。また、入場および観覧に際し、制限・制約やご協力をお願いする場合がございます。ご来館の前に、当館ウェブサイトやハローダイヤルにて最新情報をご確認ください。

リピーター割引 会期中2回目以降ご鑑賞の方は半券の提示にて200円割引(他の割引との併用不可)

太田記念美術館
ŌTA MEMORIAL MUSEUM OF ART

ARTS for the future!



歌川国芳(1797~1861)は江戸時代後期に活躍した浮世絵師です。国芳は10代後半で浮世絵師としてデビューし、売れない不遇の時期を過ごしたあと、30代前半で描いた「通俗水滸伝豪傑百八人之一個」シリーズで大ブレイク。以降は勇壮な武将を描いた武者絵や、コミカルな笑いを描いた戯画をはじめ、風景画、美人画、役者絵、子供絵など、ありとあらゆるジャンルを精力的に手掛け、多くの弟子も育てて浮世絵界を牽引しました。

また国芳は天保の改革の影響下における不安定な世情の中で、精力的に浮世絵を描いたことでも知られています。作品が当時の幕政を暗に風刺しているとして絶版になったり、奉行所の取り調べを受けることもありましたが、国芳はまったくへこたれることなく、江戸っ子に笑いや驚きをもたらす戯画や武者絵を描き続けたのです。

昨今ではコロナ禍により人々の楽しみが制限され、閉塞感のある状況が続いていますが、このような時代にこそ、国芳の底抜けに明るい作品やポジティブに生きる姿勢が、現代の私たちにも強く訴えかけてくるのではないのでしょうか。2021年は歌川国芳の没後160年にあたります。この記念の年に、本展では国芳の生涯と作品を改めて紹介し、その魅力に迫ります。



①



②



③



④

PART I 9/4~26展示

- ①「猫の当字 かつを」(個人蔵)
- ②「ほふづきづし 八そふとび」
- ③「里すめねぐらの仮宿」
- ④「通俗水滸伝豪傑百八人之壹人 浪裡白跳張順」
- ⑤ 月岡芳年「歌川国芳肖像」

歌川国芳
Utagawa Kuniyoshi
没後160年記念



⑥



⑤



⑦



⑧

PART II 10/1~24展示

- ⑥「近江の国の勇婦於兼」
- ⑦「相馬の古内裏」(個人蔵)
- ⑧「讃岐院眷属をして為朝をすくふ図」(個人蔵)



太田記念美術館

東京都渋谷区神宮前 1-10-10

アクセス

JR山手線 原宿駅(表参道口)より徒歩5分
東京メトロ千代田線・副都心線 明治神宮前駅
(5番出口)より徒歩3分

お問合せ

050-5541-8600(ハローダイヤル)

